



読む人の
幸せを
心に願って
作る

喜びの タネまき 新聞 no.506

千羽鶴

はじめまして、ダスキンの社長を当番している山村です。ダスキンでは、「社長」や「部長」という立場は「当番」という考え方を持っています。これは、創業者鈴木清一の「会社は個人のものではなく、みんなでお預かりしている会社である」という思想が、創業以来四十八年間受け継がれているものです。東日本大震災がおこって数日後に上海のダスキンから、被災され

た方たちへのお見舞いにと、「千羽鶴」が送られてきました。現地に
出向している社長が仕事を終えて
一人で鶴を折っていると、社員が
「何をしているのですか」と尋ねて
きたそうです。千羽鶴の由来をい
うと、「中国にも折り紙をおる習慣
があります。お手伝いさせてくだ
さい」とのこと。日本とは少し折
り方が違うようですが、教えてい
ると他の社員も次から次と加わり、
自宅へ持ち帰って両親と一緒に折
った社員や子供さんと折った社員、
たくさん仲間たちが鶴を折って

くれたと聞きました。
三年前の四川省大震災や東日本
大震災の前日には雲南省で大きな
地震もあり、辛い気持ちは同じ。
上海の社長は気を遣わせてはいけ
ないと、一人で折っていたそうです
が、国や文化が違っても、命の尊さ、
人への思いやりは変わらないとい
うことを感じました。

株式会社ダスキン社長

山村 輝治

40年の歩み



いつも皆様に親しんでいただ
いている「喜びのタネまき新聞」
は今年1月に500号を数え
ました。この7月、本号でちょ
うど40年目。長い年月、おかげ
さまで続けて来られました。
かえりみれば小紙にも、内容
や表紙など、小さな変化があり
ました。また、時代の変化は大
きく、様々な出来事に彩られ、

人々の話題も移り変わってきま
した。本号では、その40年を振
り返つてみたいと思います。
「あんなことがあった。こんな
時もあった」と思い出して、懐
かしい歌やひとの顔が浮かぶ
かもしれません。ご自身の年
月は、どうでいらっしやいまし
たか。
時代の流れの中でいつも変わ

らず、「喜びのタネまき新聞」が
目指してきたのは、辛いことや
悲しいことがあつても、読んで
いるひとときだけでも、心がほ
のぼのとするような紙面を作
りたいということでした。
長く続けて来ることができ
たことへの感謝と、これからも
ご愛読いただきますよう、心か
らお願い申し上げます。

no.1

喜びのタネまき新聞創刊。

1971・7月

ミスタードーナツ1号店が大府箕面
市に24時間営業でオープン。ドーナツ1
個40円、コーヒー1杯50円。

NHK総合テレビが全放送のカラー化
を開始。



1973

no.25

「ほほえみのひろば」
と、おたよりのコー
ナーが名づけられ、
現在も続いている。

第2次ベビーブーム。
日本国内で出生数が
209万人となった。



NHKホールがオープンし、紅白歌合戦
を開催。

1974

no.32

巻頭の言葉が「鈴木清一からのラブ
レター」というタイトルに。

佐藤榮作が、非核三原則で日本人初と
なるノーベル平和賞を受賞。

長嶋茂雄が引退。

1976

no.57

「工夫して生活しよ
う」というお料理の
コーナーが登場。普
段買っている食、べも
のを自家製で作る
方法などを提案。



1977

no.87

鹿兒島市立病院で日本初となる五つ子
が誕生。

モントリオールオリンピックが開催。ル
ーマニアのコマネチが、史上初の体操10
点満点をとる。

アメリカで「スターウォーズ」のシリーズ
第1作目が公開。

王貞治がヤクルト戦でホームラン世界新
記録となる756号
を達成。

1978

no.100

手芸コーナー「お
人形のABC」を
連載。手作りの人
形や小物の作り方
を紹介。



1982

no.133

NHKが世界初となる南極からのテレ
ビ生中継に成功。
ソニーがヘッドホンステレオ「ウォークマン」
を発売。

教育者・東井義雄さんの「子供の風
景」を連載。今でもバックナンバー
を読みたいという人がいる。



1984

no.152

ダスキンお掃除先生訪中談「中国
のおそうじ事情」掲載。
日本の平均寿命がはじめて男女とも世
界一に。
オーストラリアから日本に初のコアラ6
頭が贈られる。

新紙幣3種が発行された。1万円札が
福澤諭吉、5千円札が新渡戸稲造、千
円札が夏目漱石へ。

ミスタードーナツのグッズ
プレゼントに原田治氏の
イラストが登場し人気に。

ミスタードーナツのCMに所ジョージ
さんが初登場。以降15年間、所店長と
してCMキャラクターに。



1986

1988

no.200

200号まで発刊。
青函トンネルが開通。東京ドームが完成。
100人の友達のために、100組の手袋を作って個展を開いた女性を紹介。



1990

no.226

任天堂がスーパーファミコンを発売。
任天堂がスーパーファミコンを発売。
のCMに、きんさんぎんさんを起用し話題に。



1993

no.274

新聞の版型がタブロイド判に変更。
日本プロサッカーリーグが開幕。
法隆寺、姫路城、屋久島、白神山地が、日本で初の世界遺産に登録。



1995

no.300

300号まで発刊。
野茂英雄が大リーグデビュー。
鈴木清一の「心の地図帳」がはじまる。



1998

no.340

当時では画期的な3分間CMにさだまさしさん出演。
長野オリンピックが開幕。



1999

no.352

「旅のノート」の連載がはじまる。日本各地を紹介。
「この町この祭り」の連載がはじまる。各地の祭りをとりあげる。



2000

no.365

シドニーオリンピックで高橋尚子が金メダルを獲得。
白川英樹が導電性プラスチックの研究でノーベル化学賞を受賞。

2002

no.400

「タマちゃん」ブーム。多摩川にアゴヒゲアザラシが現れる。
完全週5日制の実質的なゆとり教育がスタート。



2003

no.400

400号まで発刊。
第65代横綱、貴乃花が引退。朝青龍がモンゴル人初となる第68代横綱に昇進。

2004

no.412

韓国ドラマ「冬のソナタ」から日本で韓流ブームが起る。
地上デジタルテレビ放送が東京、大阪、名古屋で放送開始。
アテネオリンピック開催。日本選手団は競泳の北島康介ら、金16、銀9、銅12の活躍。
新紙幣発行。肖像画を福澤諭吉、樋口一葉、野口英世に変更。

2005

no.421 no.424

「第一回あなたの喜ぶ顔が見たい」フォトコンテストを発表。
「ものぐさガーデニング」を連載。シンプルなお庭作りが人気に。
日本国際博覧会(愛知万博)が開幕。



2008

no.471

葉画家の群馬直美さんの連載をスタート。植物の生命力をもった美しい絵が評判を呼ぶ。
高齢者向け婦人服の製造と販売をする「マダムトモコ」を紹介。背中や腰の丸くなった女性のための服が話題に。

2010

no.500

野口聡一が国際宇宙ステーションに日本人として最長の5ヶ月間滞在。
バラク・オバマが、アフリカ系として初のアメリカ大統領に当選。



「ほほえみのひろば」が本になります



「ほほえみのひろば」と名付けられたのは、38年前。創刊からの40年間で最も長く続いているコーナーです。読者の方々からお寄せいただいた、心に残った出来事を紹介してきました。今までにご紹介したお便りは2500以上。読み返してみますと、時代の変化とともに、その時でしか味わえない出来事もあれば、ずっと変わらないこともあります。なによりも書いた人と読む人をつないできたことを嬉しく思います。
喜びのタネまき新聞の40周年を記念して、「ほほえみのひろば」でご紹介したお便りの一部を1冊の本にしたいと思えます。どのような本が出来るかは、来年までのお楽しみに！

姉さんの木

香川県観音寺市 向井久江

24才年上の姉は、末っ子の私を自分の子どものように、いつも気にかけてくれました。姉は10人兄弟の長女。忍耐や我慢も多かったでしょうが、義理堅く、いつも凜としていました。お盆には、ちらし寿司やおはぎを作ってくれ、みんなで姉の家に集まるのが楽しみでした。ある時、姉が1本の小さな木をくれました。玉心梅と聞きましたが園芸種なのか初めて見る木。小さな目立たない花は良い匂いだそう。で、早速、家に持ち帰り、庭に植えました。なかなか大きくなりませんでした。それから10年、今では1メートル程に成長しました。春の夕方、家に帰って庭に出ると、フルーツのような甘い香りが漂ってきます。目を閉じて深く息を吸うと、甘い香りに包まれます。そして、この木をくれた、あの日の姉の笑顔を思い出します。小さな花も大切にしていた姉さん。私もこの木を大切に育てます。

——花は何色ですか。香りも知りたいです。

おみやげ

三重県松阪市 前川す津



近くに住む小学6年生の孫息子が、1泊2日の修学旅行から帰ってきた。家へ帰る途中で、ジー、パーである我が家に寄って、みやげの生八つ橋を渡しながら、繰り返ししました。「大きいのを買ってきたでな。大きいのを買ってきたでな。小さい箱もあったけど」…まさかの半分こ!?と思い、恐る恐る言ってみた。「このみやげ分けるんやなあ…すると、無言でうなずき「修学旅行、楽しかったよ」と半分残して帰って行った。甘党の我が家と娘一家。いつ頃からか、おみやげは半分こに。甘いものとり過ぎをふせぐためなのか…。孫息子にとつて初めて買ってきたおみやげ。親をまねて買って来たとは、おかしいやら感心するやら。

——しっかり者のな。

1本のジュース

山形県酒田市 斎藤亜矢子

5才の息子が、1本のジュースを握りしめて、帰りの幼稚園バスから降りてきました。「それどうしたの?」と聞くと、園庭で行われた宝さがしゲームの賞品だとのこと。150mlの小さなオレンジジュースです。「ほらほら、今のうちに飲んじやいな!」弟が昼寝から起きないうちに…。そうしたら、「半分こして飲む。今日、幼稚園で宝さがしゲームして、僕が砂場で見つけたんだよ、って教えるの」と嬉しそうに息子は言いました。びっくりしました。と同時に、とても嬉しい気持ちになりました。それにしても、私は、なんて事を言っちゃったんでしょう。お恥ずかしいかぎりです…。

——はんぶんこして、倍おいしいもん。

何とまあ

東京都練馬区 藤平百香



中学1年生になった孫が、母親を追い越して160cmになった。小学3年の終わりまでアトピーで苦しみ、偶然入った野球部のお陰か、忘れたように治ってくれました。アトピーが治ったことは何より嬉しいことでしたが、同時に家族を悩ませたのが反抗期でした。ゲームに熱中し、家族との会話もなく、成績もみるみる下がる始末。胸苦しく過ぎる毎日でした。それが、中学生となり快適な生活が始まると共に、反抗期も遠のいたのでしょうか、顔も姿もめきめきと明るくなり、現在は地元中学校でキャッチャーとして頑張っています。ある新聞紙回収日、1袋2キロはあるのを2袋…と知っているところへ、孫が「玄関の前に置いとくんじゃよ」と二つの袋をひよいと持ち上げてくれました。「おばあちゃん、腕痛いんでしょ」と言いながら。何とまあ、いい子に育ってくれた孫です。

——中学生の男の子。激動の時代ですよね。

また、あした

愛知県愛西市 青木聡子



3歳になったばかりの娘は、言葉話し始めたのも早く、今では大人顔負けの話をします。先日、近所の親戚の家に一人で遊びに行った。ある事で注意をされ、ふてくされて怒った娘は「もう、怒ったから帰る!」と、おばあちゃんが、「プレゼントがあるのだけど…」その言葉に「ん!」と立ち止まり、振り向いた娘が少し考えて言った事は、「私は今怒ってるから明日にして!」周囲は皆大笑い。「いらない」とは言わず、「明日にして!」と。彼女なりに考えたのだ。怒ってしまったから頂戴とも言えなかったのだろう。やはり女の子はおませさん。これから益々大人びてくると思うと、親としてはフクザツです。

——臨機応変、当意即妙。

用心棒

熊本県天草市 原田睦美



近所に住む長女一家には3歳と8歳の孫がおり、二人とも男の子で、時々私を助けてくれる。先日、地デジに切り替えたときも、機械に弱い私に代わって8歳の孫が操作をしてくれ、大助かり。夫が不在の夜は、「ばあちゃんを守る」と用心棒になってくれたりする。一方、会話もほぼ一人前になった下の孫は、笑いの運び屋さん。娘の顔を撫でながら、「母さん可愛い」。では「ばあちゃんは?」と聞くと、「ばあちゃんは、耳が可愛い」の一言。ケーキを見ると誕生日の歌を歌って、フーと息を吹きかけたり、突然、おどけた顔で踊り出したりと、疲れを吹き飛ばしてくれる。そんな孫達と毎日遊べる幸せをかみしめています。

——ミカワイイ(〜)ていいなあ。



兵庫県伊丹市 岡本純子

「お姉ちゃんたちは2本、ボクは1本ピースだよ」

●みなさまからお寄せいただいたお話をもとに新聞をつくってまいります。どうぞ、あなたが体験した嬉しかったこと、誰かに聞いてもらいたいことなど、身近な話題をお寄せください。

●投稿には、名前、年齢、職業、住所、電話番号、現在ご利用のダスキンのお店名をお忘れなく。紙面やホームページでご紹介させていただいた原稿や写真にはお礼をさせていただきます。

●送り先 〒163-0223 東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号) ダスキン「喜びのタネまき新聞」編集室 電話 03(5909)6703 e-mail: koho4@mail.duskin.co.jp

無料 おそうじ相談 実施中! 無料

ダスキンコールセンター 平日の9:00~17:00 0120-100-100

No.419からのバックナンバーが下記のアドレスからご覧になれます http://www.duskin.co.jp/torikumi/tanemaki/index.html

わかち合う人生 人間が成長するには自分だけでは出来ない。人と交わり、他の人と仕事を一緒にやることでその中から学んでゆく。裏を返せば学んだことを、他人とわかち合うことによって、自分も成長するのです。

鈴木清一

チャレンジ!

カナダで指導してくれたチェンバー氏と
~あの瞬間を今に~
★'99 カナダ・アメリカ合衆国
第18期海外研修派遣生 名古屋大学 特任准教授 坂野尚美さん(多発性硬化症)

17歳で多発性硬化症を発症した時は気持ちを理解し合える患者の仲間もなく再発のリスクに怯えていました。研修で訪れたカナダとアメリカで、同じような環境や悩みを持つ仲間と対等な立場で行うピア・カウンセリングと出会い、「日本にも広めたい!」と愛知で養成講座を開講。初めは周囲に認められませんでした。海外で実際に見て経験したことを原動力に強い意志で前進できました。

このコーナーについては 広げよう愛の輪運動基金まで。 06-6821-5270 HP (http://www.ainowa.jp/)

今年30周年を迎える愛の輪は日本とアジアの地域社会のリーダーを目指す障害のある若者に、福祉先進国での研修支援を行っています。

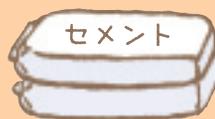


サマーリサイクルは
熱エネルギーに
変えるのよ！



**古いモップやマットは
熱エネルギーに！**

レンタルできなくなったモップやマットは、セメント工場の燃料として再利用。古くて使えなくなったものを燃やして熱エネルギーに変える「サマーリサイクル」に取り組んでいます。燃やしたあとの灰も、セメント原料の一部として最後までしっかり利用します。



詳しくはwebで「ダスキンのエコ」を検索してネ。



(ダスキン環境シンボルマーク)



サマーリサイクル
リサイクル

ダスキンのお客様係募集中!!

詳しくはwebで

お客様係

検索

※お仕事内容や募集要項をご覧ください。



携帯からも
アクセス

お楽しみクイズ

モップやマットを
燃やして何にする？

工



正解者の中から30名様に
「キッチンきれいセット」を
プレゼント!



下記の要領でご応募ください。

◆ハガキに

- ①クイズの答え②郵便番号③住所④氏名⑤年齢⑥性別
- ⑦電話番号⑧現在ご利用のダスキンの店名をご記入の上、下記あて先までお送りください。

◆あて先

〒163-0265
(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞no.506」
クイズプレゼント係

※お楽しみクイズ専用の住所不要のあて先です。

- ◆締め切り 平成23年8月5日(金)当日消印有効
- ◆ダスキン関係者の応募はご遠慮ください。
- ◆当選者の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。(平成23年8月下旬お届け予定)
- ◆応募に関してのお問い合わせ TEL:03-5909-6703

※抽選結果に関するお問い合わせはお受けできません。予めご了承ください。

今回ご応募いただいた個人情報については、(株)ダスキンの範囲内でのみ利用させていただきます。プレゼントの抽選・発送の目的以外には使用いたしません。個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、(株)ダスキン「喜びのタネまき新聞」クイズプレゼント係 TEL:03-5909-6703 までご連絡ください。

no.504のクイズの答えは「あぶら」でした。

郵便番号は
お間違いなく!

●この新聞をお届けしているのは

株式会社 **ダスキン**

発行：広報・広告部 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町1-33

編集：「喜びのタネまき新聞」編集室

〒163-0223

東京都新宿区西新宿2丁目6番1号 新宿住友ビル23階(私書箱47号)

TEL:03-5909-6703 FAX:03-5909-6771

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

お客様の個人情報は商品のお届けや回収、サービスの提供に利用させていただきます。また、後日商品やサービスのご案内をさせていただく場合があります。なお、お預かりした個人情報はダスキングループ企業と加盟店の範囲内で利用させていただきます。配送業務等で個人情報を外部企業に委託する場合は、弊社の厳正な管理の下で実施します。

個人情報に関するお問い合わせや、ご自身の個人情報の開示・訂正・利用停止については、下記ダスキンコールセンターまでご連絡ください。

■ダスキンコールセンター

0120-100100 www.duskin.jp